現在・過去・未来～働くあなたへ～図書館員コメント一覧

現在：就活現在進行中の方へおすすめ本

請求記号	書名	著者名	出版社
KZ/3/セ	**SERI まんすり:明日の地域と企業の情報誌**		静岡経済研究所

【図書館員からのコメント】静岡経済研究所が毎月発行する地域雑誌。「経営力・産業力・地域力向上のための身近な手引書」。興味深い調査や、先人の紹介、トップリーダーのインタビューなど、目を通すことで、私たちの住む静岡県の今を知ることができる。通常は、雑誌コーナーに置いてありますが、あまり目立たないのでぜひ手に取ってみてください。

TY Eナイ (児童書)	**月とアポロとマーガレット**	ﾃﾞｨｰﾝ･ﾛﾋﾞﾝｽﾞ/文　ﾙｰｼｰ･ﾅｲｽﾞﾘｰ/絵	評論社

【図書館員からのコメント】マーガレット・ハミルトンは、小さい頃から宇宙が好きで、算数も大好きでした。コンピューター技師としてNASAで働くことになった彼女は、起こるかもしれない問題を全て考え準備し、1969年にアポロ11号の月着陸を成功させました。こども向けの伝記絵本は、その人の生涯と職業を気軽に追体験することが出来ます。おとなになってからでも是非、手に取ってみてください。

159 (児童書)	**自分の世界をもちなさい**	假屋崎省吾	PHP研究所

【図書館員からのコメント】もし、あなたに１時間の時間があればこの本を読んでみませんか。
仕事を決めて進路を進むことは、容易ではありません。著者假屋崎さんもそう感じた一人かもしれません。自分を見つめ直し、歩んできた進路を引換えし、華道の基本を学び、感性を高めるために自分に投資する日々を送る。有名な華道家になってもなお、その熱意はさめません。あとがきで假屋崎さんは、役に立つとか、お金になるとか考えるのではなく、純粋に「自分がやりたい」と思うものを素直にやってみてはどうでしょう・・・と締めくくっています。

366 (児童書)	**大人になったらしたい仕事**	朝日中高生新聞編集部	朝日学生新聞社

【図書館員からのコメント】「朝日中学生ウィークリー」「朝日中高生新聞」に掲載された連載を抜粋し、まとめたものになっています。自然や動物が好き！食べることが好き！など、好きな分野のお仕事についた人の紹介が載っています。誰もが知っている職業から、あまり知られていない職業まで網羅。中高生におすすめの一冊です。

R 031	**現代用語の基礎知識（1973-2019年）**		自由国民社

【図書館員からのコメント】どう活用するか、あなた次第です。就職活動はもちろん　あなたの世界を少しだけ広げてみませんか？（この本は禁帯出資料です。レファレンスコーナーで閲覧できます。）

159　ｴﾉ	**薄っぺらいのに自信満々な人**	榎本博明	日本経済新聞出版社

【図書館員からのコメント】薄っぺらいのに自信満々な人、心当たりがありますか？心当たりがある人もない人も、就活中の人ならこれからきっと様々な人に出会うでしょう。この本は一見若者の悪口を言っているようですが、読み進めていくにつれて日本人全体への注意喚起になっています。そういえば、と思い当たる節も出てきます。「どうして自分はうまくいかないのだろう」と悩んでいる人へのヒントになると思います。少し立ち止まって自分と向き合ってみませんか。

159.4 ﾊﾂ	**さあ、才能（じぶん）に目覚めよう**	ﾏｰｶｽ･ﾊﾞｯｷﾝｶﾞﾑ& ﾄﾞﾅﾙﾄﾞ･O・ｸﾘﾌﾄﾝ	日本経済新聞出版

【図書館員からのコメント】「あなたの長所は？」と聞かれたとき、自信をもって答えられますか？あなたの強みはなにか、それをどのように活用すればよいか。ストレングス・ファインダーという方法で客観的に自分を分析できると本書は説いています。時事的な事柄は出版当初からすると古くなっていますが、そのエッセンスは十分に参考になります。まずは自分を知ることから始めましょう。

336.3	**部下を定時に帰す仕事術**	佐々木常夫	WAVE出版

【図書館員からのコメント】この本出版時は東レ経営研究所社長。自閉症の長男を含め年子の3人の子どもの世話と妻の看病をしながら会社勤めをする必要に迫られ、「仕事のやり方」を考え抜く努力と工夫によって仕事と家庭を両立させるため徹底的にマネジメントした「ワーク･ライフ･マネジメント」。仕事と子育て家庭と時間に追われていた私に仕事への取組のヒントと勇気をくれた本。目の前の仕事に全力をあげるなかで、工夫して人よりもちょっとだけ優れることをする、研修勉強は自腹でなどこれから仕事を始める方にも通じる仕事術がわかりやすく書かれている。

377.95	**先生は教えてくれない就活のトリセツ**	田中研之輔	筑摩書房

【図書館員からのコメント】就活に向けた準備を進め、数か月に及ぶ選考期間を戦い抜く実践的な手引書。業界の調べ方、「企業があなたを採用する」という視点での『100％突破するエントリーシートの書き方』や、過去に出たエントリーシートの設問が数多くリストで紹介されています。『しくじらない面接の受け方』、『インターンの活かし方』などもわかりやすく書かれています。「グループワークで採用側の目に留まる学生」について語られた人事担当者の言葉。納得です！さらっと読めて前向きに頑張れる一冊です。

請求記号	書名	著者名	出版社
445.9	**冥王星を殺したのは私です**	マイク・ブラウン／著 梶山あゆみ／訳	飛鳥新社

【図書館員からのコメント】衝撃的なタイトルですが、著者は最初から「冥王星を殺した」かったわけではありません。自身の信念を貫いた結果、冥王星を惑星から追い出した―「殺し」てしまった、その騒動を書いた本です。一見固い研究書のようですが、恋愛や、育児への戸惑い、邪魔をしてくる天文マニアとの闘い、そして研究への挑戦、失敗、再挑戦、そんな生活をユーモアたっぷりに書いてあります。就活中は就職に向かって頑張り続ける大変な時期ですが、目指す場所は違っても目標に向かって突き進む著者の姿に勇気と、クスッと笑える文章に息抜きもかねて時間のある時に、ぜひ、どうぞ。

913.6 ｱｻｲ	**何者**	朝井リョウ	新潮社

【図書館員からのコメント】就職活動とSNSを題材にして、現代の若者の自意識をリアルに描いた物語。ラストのどんでん返しは衝撃的です。就職活動という「何者」かにならなければならない決断を迫られた状況で、何が大切なことなのか等、進路について考えるいい機会になる本ではないかと思います。

913.6 ｱﾘｶ	**フリーター、家を買う。**	有川浩	幻冬舎

【図書館員からのコメント】３カ月で就職先を辞めてしまった主人公武誠治は、フリーター生活を続けていたある日母親の異変に気が付きます。異変の原因を取り除こうと誠治は再就職を決意し、やがて働くことに対してもやりがいを見いだしていきます。何のために働くのか、自分が何に支えられて生きているのかを考え、奮闘する主人公に共感し気力の湧いてくる小説です。何のために就職活動をするのか、迷ったり悩んだりした時に支えになってくれる物語だと思います。ぜひ読んでみてください。

914.6 ﾊﾔ	**野心のすすめ**	林真理子	講談社

【図書館員からのコメント】「野心」という響きは生々しい。今の時代にはそぐわない言葉かもしれない。あからさまな「野心」を持ったり、上昇志向が無くても食べていくことぐらいはできる。しかし、今のままがずっと続くとは限らない。「低め安定」の生活の、その先にあるものは…？林真理子自身の失敗談、成功譚を例にあげて、若いうちにこそ考えたい「野心」の必要性を説いた一冊。

914.6 ﾜﾀ	**鈍感力**	渡辺淳一	集英社

【図書館員からのコメント】生きていく上で必要なこと、それはいい意味で鈍感になることとこの本から教わりました。悩んだり落ち込んだり、些細な事が気になってしまったり…。よくあることですが、受け流したり、あまり深くとらえすぎないことも必要だなと思いました。「自分に自信がない時や迷った時、そんな時は自分に一番聞こえがいい、自分をもっとやる気にさせてくれる言葉を信じて一歩前に踏み出すこと。」この本の一節にそう書かれているのですが、なるほどそうかと思いました。受け流し、時にいい意味で自分の都合の良いように解釈する、そんな鈍感力を身につけたいものです。

過去：過去に就活していた頃に読んでいた本、過去の自分に宛てたおすすめ本

請求記号	書名	著者名	出版社
159 ｳｴ	**平常心のコツ**	植西聰	自由国民社

【図書館員からのコメント】焦りや落ち込んだりなど、心の乱れに振り回されることは誰もがあることです。心の乱れから、間違った判断や不安に陥ることも多々あります。この本は、心を安定させるためのものの考え方や実践方法が多数紹介されています。１項目が2ページになっているので、読みやすいです。一つでもヒントになる言葉に出合えれば、気持ちも楽になり、本来の自分を発揮できると思います。

367.21	**東大を出たあの子は幸せになったのか**	樋田敦子	大和書房

【図書館員からのコメント】就職しなければいけない歳になった。さてどうしよう。そういえば、高校の頃、塾の先生が、「東大卒っていうのは、どこの会社でも就職できるパスポートみたいなものだよ。」と言っていた。やっぱすごいなあ東大は。そんなことを思っていたあの頃の自分に読んでもらいたい。想像もできないほどの努力を重ねて、政治家や医師や検察官になった東大卒の女子のその後は、やっぱすごいなあでは表されない。あの頃の自分が本書を読めば、他人を羨むのではなく、自分は今までやってきた自分、就職の延長線上に幸せがあるようにと思ってくれるかな？

370.4	**教えるということ**	大村はま	共文社

【図書館員からのコメント】明治生まれの著者大村はまさんが、生涯をかけて全うした職業は教師でした。研修会で後輩教師へ送られた熱きメッセージが納められたこの本は、読むと背筋が伸びます。そのメッセージは教師にだけ向けられたものではなく、働く全ての人へのエールなのかもしれません。「良薬口に苦し」と言いますが、この本は正にそれです。教師の資格を研究することとし、教師の職業を非常にこわい職業、自分に対して非常なきびしさのいる職業と語っています。何かに迷ったとき、この本は航海する人の灯台のような役目をしてくれるに違いありません。読み応えのある本です。

請求記号	書名	著者名	出版社

913.6 ｱﾘｶ	**図書館内乱**	有川浩	メディアワークス

【図書館員からのコメント】就活中に読んでいた本を思い浮かべた時に、当時全く本を読んでいなかったことに気づきました。なので、あの頃読んでおけばよかったという本を紹介します。内容は本を守るために奮闘する人々を描いた話で、アクションやラブコメが魅力の作品ですが、意外と働く時の心構えで大事なことを教官が教えてくれます。「自信のない作業は分かるやつにコツを聞け」「経験が足りないことは仕方がないが、経験が足りないことを取り繕おうとするな。」新社会人に伝えてあげたい言葉です。

913.6 ｼｲﾅ	**新橋烏森口青春篇**	椎名誠	新潮社

【図書館員からのコメント】民間企業と公務員試験の就職活動をしていた頃、人事担当者へ緊張して連絡したり、面接試験で初対面の人に自己紹介をすること等、多くのストレスを抱えました。そんな時は現実逃避の方法として読書は不可欠でした。読んでいた本で思い出したのはこの本です。椎名誠の社会人になった頃を描いた自伝的小説です。主人公が新入社員として経験することが面白おかしく読めます。心がつらい時は楽しく読める本をお勧めします。ちなみに椎名誠の私小説は学生時代を描いた『哀愁の町に霧が降るのだ』や、青春篇の後を描いた『銀座のカラス』もオススメです。

B913.6 ﾊｲﾀ	**兎の眼**	灰谷 健次郎	角川書店

【図書館員からのコメント】大学を出たばかりの、そして結婚してまだ10日しかたっていない小谷芙美先生。そんな小谷先生が受け持ったのは、1年生。学校では一言もしゃべらない鉄三のいるクラスでした。塵芥処理所の長屋に住んでいる鉄三が飼っているのは「ハエ」。なかなか心を開かない鉄三に真正面から向かい合い、ぶつかっていきます。人と向き合うということを考えさせられる1冊。

913.6 ﾕｽｷ	**3時のアッコちゃん**	柚木麻子	双葉社

【図書館員からのコメント】就職活動が上手くいっていなかったときに母から贈られた1冊。何かに行き詰ったときに読むと、主人公アッコさんから元気がもらえて前向きになれます。働いている人もそうでない人も、年齢を問わず楽しめるお仕事小説です。

未来：あと何年後か（未来）に就活を迎える方へのおすすめ本

請求記号	書名	著者名	出版社

E ｷﾀ (児童書)	**ねこぼうとふらわあちゃんーうわさのようちえんー**	きたやまようこ	講談社

【図書館員からのコメント】就職して社会に出ると、学校・家庭という同じ年齢や価値観の中での生活から、様々な世代の様々な価値観を持った人と関わり、仕事を進めていかなければなりません。「うわさのようちえん」には個性の一言では収まりきらない様々な子ども達がいます。その多様な子ども達は一人ひとり認められ、周りの人を受け入れて共に生活しています。社会は広くいろいろな考えを持ち表れをする人がいる、その中で自分軸を大切にしながら、柔軟な心で周りの人に関わってほしいと思い、この絵本を紹介します。

331(児童書	**レモンをお金にかえる法**	ﾙｲｽﾞ・ｱｰﾑｽﾄﾛﾝｸﾞ/文 佐和隆光/訳	河出書房新社

【図書館員からのコメント】レモンをしぼって水と砂糖を入れるとレモネードができます。1杯60円で売ったら、そこから商売が始まります。利益をあげるためには、また競争相手ができたらどうすればよいでしょうか。この本はレモネードを作って売ることから、経済学の仕組みをわかりやすく説明する絵本です。「お金を稼ぐ」とは、どういうことか、まずは本で学んでみましょう。　続編に「“インフレ⇨不況⇨景気回復”の巻」あり。

376.8 (児童書)	**13歳の進路**	村上　龍	幻冬舎

【図書館員からのコメント】たくさんの仕事を紹介している村上龍さんの「13歳のハローワーク」という本を知っていますか。これはその本の続きの本です。高校、大学、就職どれも漠然として想像が出来ず、進路に迷っている人。そんな人達におすすめします。全部読む必要なんてありません。興味のある所だけ読んでみて下さい。悩んでいるお子さんに親御さんから薦めてみてもよいと思います。

523 (児童書)	**ル・コルビュジエ　建築家の仕事**	ﾌﾗﾝｼｰﾇ・ﾌﾞｯｼｪ／作 ﾐｯｼｪﾙ・ｺｰｱﾝ／作	すえもりブックス

【図書館員からのコメント】ル・コルビュジエは建築家でした。建築家ってどんなひとでしょう？斬新な発想でコンクリートなど新しい素材を取り入れ、現代建築と現代都市計画の基礎を築いたル・コルビュジエの生涯をたどります。こども向けの伝記絵本は、その人の生涯と職業を気軽に追体験することが出来ます。おとなになってからでも是非手に取ってみてください。

請求記号	書名	著者名	出版社

933　ヒカ (児童書)	**剣と絵筆**	バーバラ・レオニ・ピカード	すぐ書房

【図書館員からのコメント】１４世紀初頭のイングランド。名門ド・ボーヴィル家に生まれたスティーヴン。幼い頃のトラウマが原因で犬恐怖症になり、皆からは臆病者と罵られていた。そんな息子を騎士には向かないと判断し、父はスティーヴンの意志を無視し、修道院に入れてしまう。修道院では、スティーヴンに絵の才能が垣間見えるが、騎士になる夢を諦めきれず、家族を見返したいスティーヴンが取った行動とは!?さまざまな出会いと別れを繰り返し、スティーヴンは本当の自分、進むべき道を見つけていく。これからの人生を選ぶあたなに…。

335.35	**逆風を追い風に変えた企業**	坂本光司	静岡新聞社

【図書館員からのコメント】寄らば大樹の陰とことわざあるように就職の際には「給料が高い」、「休みが多く安定してる」などが選考の基準になっていましたが、日本のバブル崩壊や東日本大震災を経て企業を選ぶ見方が変わってきています。昨今では企業の経営理念や社会性などに関心が向けられており、ここに紹介している本の中には大企業でなくても顧客や社員を大切にしながら、順調に成長を遂げている会社があります。ほんの一例ですが、これから先の就職活動で参考になればと思います。

366.04	**働くことがイヤな人のための本**	中島義道	日本経済新聞社

【図書館員からのコメント】いつかは自分でお金を稼いで生きていかなくてはならない、そのためには働かなくてはいけない、そんなことは皆わかっています。今は、学校のキャリア教育でも「何に興味があるのか」「どんな職業につきたいか」等、将来への道の決定を早く早くと急かされますね。見えない自分の将来像に、焦ったり閉塞感を感じたりしませんか。そう感じているのはあなただけではありません。既に働いている大人も悩んでいます。気楽に読んでみてください。

366.29	**「働く」ために必要なこと**	品川裕香	筑摩書房

【図書館員からのコメント】学校では教えてくれない進路指導の本。あなたの学校では、どんな進路指導やキャリア教育の授業がありますか？職場体験、自己分析、職業研究等…。にもかかわらず、就職して３年以内に辞める人が急増中！不況？政治の問題？ブラック企業？原因は本当にそれだけ？就活や自立して働くときに武器になる自己理解の方法、教えます。

538.9	**宇宙に命はあるのか**	小野雅裕	SBクリエイティブ

【図書館員からのコメント】某局生放送特番でのこと。池上彰氏が新時代に残る仕事の1つはまだ世の中に存在しない仕事！と解説していた。改めていつの時代でも想像力が不可欠だと感じた令和初日。そんなイマジネーションあふれる本書は10代の学生から読めるよう随所に工夫してあり、NASA日本人技術者の著者の優しさが伝わってきます。宇宙探査の歴史と最前線に興味のある全ての方におすすめです。有名・無名に関わらず、開発に奮闘する人々は美しい！

837	**天声人語[英文対照]**	朝日新聞論説委員室	原書房

【図書館員からのコメント】文書を作成するのが苦手な人には、簡潔な文章で伝えたいことをまとめる力をつけるのに役立つと思います。また、様々なジャンルの話題が取り上げられているので、読んでいるだけで幅広い一般教養的な知識も身に付くのではないでしょうか。さらに、英文も併記されているので、英語力の強化にも役立つと思います。

913.6 ｻﾄﾐ	**ミリオンセラーガール**	里美　蘭	中央公論新社

【図書館員からのコメント】失恋＋リストラ・・・きっかけは何であれ、就いた職には全力で向き合う。周りを巻き込みながらも協力を得て、次々と課せられるミッションも必ず成果を出す。気持ち良いほどのテンポに、思わず応援したくなります。この本からは、「一生懸命さは、伝わる」ということでしょうか。

913.6 ﾜﾀﾔ	**夢を与える**	綿矢りさ	河出書房新社

【図書館員からのコメント】子どもの頃からモデルを始め、気が付けば芸能界へ…。十代の主人公の夕子は職業を選択する機会もなく、働いているという意識もなく「夢を与える人になりたいです。」と思い続けていく。「嘘ばかりだから夢なんだよ。」大人の発したこの言葉の意味もまだわからない。働くことと、夢見ること。なかなか一つにできない永遠の課題かもしれません。どう働くか、どんな職業を選択していくかは、どんな自分でいたいのかを表現するための大切な機会となるのではないでしょうか。夕子が最後に辿り着く「夢を与える」の意味とは・・・。甘くて苦い一冊。

963 ﾋﾛ	**グッドラック**	アレックス・ロビラ	ポプラ社

【図書館員からのコメント】世界中で親しまれているベストセラー本です。自分は運がないと嘆く人、将来『幸せ』になりたいと思っている人に読んでほしいです。「二人の騎士が四葉のクローバーを探す物語」というと童話の様に聞こえますが、読んだ人それぞれにとらえ方が違う内容になっているのではないでしょうか。ページ数も少なくすぐに読めてしまうのでちょっとした休憩におすすめです。悩んだり、迷ったりしている人の背中をそっと押してくれる１冊です。

三島市立図書館　2019.6